

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | ハッピーテラスさんだ教室 | | 公表日 | | 2025年 12月 16日 | |
|---------|----|--|----|-----|---|---|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 9 | 1 | ・廊下なども適宜活用しており、身体活動の際には机を片付けるなど工夫している。 | ・設置基準を満たす広さではあるが、活動スペースとしては狭いように思う。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 9 | 1 | ・支援が行き届くよう、調整の可能な範囲で職員を配置している。 | ・活動内容等によっては職員の配置が足りないと感じる日がある。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 8 | 2 | ・目で見分ける視覚支援ツール等を活用している。・段差はなくバリアフリーになっている。・職員室については、注意事項について視覚支援を実施するとともに、職員が在室するようにしている。 | ・職員室のドアがない。・掲示物は古いままのものがある。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 3 | ・業務用掃除機等を導入し、清掃は毎日実施しており、清潔に保つ努力をしている。・食事の際には、1人につき1つの机を使用しており、食後には職員が消毒を行っている。 | ・カーペット数のため、洗浄に限界がある。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 8 | 2 | ・活動時に疲れた利用者がいる場合は、トレーニング室から離れた場所でクールダウンを促している。・利用者の面談や相談の際には、個別の部屋（相談室）で対応している。 | ・利用者が個別に落ち着ける場所が不足していると感じる。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 10 | 0 | ・個別支援計画作成会議やケース検討会議等を実施する際には、当日出勤の職員がすべて参加している。・毎日の始業時にはミーティングをする時間があり、話し合うことができる。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 10 | 0 | ・保護者向け評価表でいただいた意見については、ミーティングで対応を検討し、改善に努めている。・送迎時や面談時にも随時、保護者の相談に応じている。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 10 | 0 | ・毎日の始業時のミーティングに加え、個別面談や週1回の定例ミーティングを行い、改善策を検討している。・日々の業務の中で常に相談できる雰囲気、環境になっている。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 7 | ・ハッピーテラス運営本部の定期的な訪問や研修を受け、改善に努めている。 | ・第三者による外部評価は実施できていないため、今後検討する。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 9 | 1 | ・全ての職員が法定研修を受講している。・月1以上研修を実施・受講しており、当日参加できなかった職員にも資料等で内容を周知している。 | ・利用者支援など、現場ですぐ活用できる内容の研修が少ないため、実施・受講を進めていきたい。 | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 10 | 0 | ・HP掲載のほか、教室エントランスで誰でも閲覧可能にしている。 | ・公表時のお知らせ等、分かりやすい周知の方法を検討していきたい。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 10 | 0 | ・利用者・保護者への聞き取りや個別面談を行っている。・すべての利用者に対して個別支援計画書を作成し、計画に沿って支援を行っている。 | ・利用者、保護者の意向を踏まえて、より分かりやすい計画の作成に努めていきたい。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 10 | 0 | ・個別支援計画作成会議だけでなく、日々の業務の中でも情報共有を行いながら全ての職員が意思決定支援に関り、計画の見直しを実施している。 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 10 | 0 | ・毎日のミーティングで全ての利用者の支援目標を共有し、支援を実施している。・個別支援計画は全ての職員がいつでも閲覧できるシステムを活用している。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 8 | 2 | ・利用者の発達検査の結果を踏まえつつ、アセスメントシートを活用するほか、日々のトレーニングや遊びの様子を職員間で共有している。 | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 10 | 0 | ・ガイドラインをふまえた支援内容の設定に努めている。 | ・利用者、保護者の意向を踏まえて、より分かりやすく、具体的な計画の作成に努めていきたい。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 10 | 0 | ・トレーニングやイベントの立案は様々な職員がアイデアを出し合い、意見交換を行っている。 | | |

| | | | | | | |
|--|----|--|----|---|--|---|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 10 | 0 | ・トレーニングは週ごとにテーマが変更されている。トレーニングやイベントの内容は、利用者の年齢や興味を加味して、様々なスキルが育つよう職員がアイデアを出し合い、工夫している。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 10 | 0 | ・就労や進学を目指して、個別の課題を用意している。 | ・集団トレーニングを実施しており、その中での個別対応には限界があると感じる。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 10 | 0 | ・トレーニングやイベント前に利用者の個別支援計画に基づく目標や支援内容を共有する時間を設けている。 | ・土曜日・長期休暇は始業と同時に利用者が来所するため時間が限られ、簡易的な打ち合わせになってしまう。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 9 | 1 | ・支援日誌を記録する際に、その日の利用者の様子を職員間で共有している。 | ・気付いた点は共有しているが、全ての職員が同席できないこともある。その場合は重要事項を優先的に共有し、その他はシステム上の支援日誌等を通じて共有している。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 10 | 0 | ・システムを活用して支援日誌を作成し、支援内容を振り返っている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 10 | 0 | ・定期的にモニタリングを実施している。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 10 | 0 | | ・地域交流の機会とは豊富とは言えない。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 10 | 0 | ・言葉での意思表示が難しい利用者に対しては、ツール（絵カード等）を使用して支援を行っている。・トレーニングの中でも、利用者の自由な発想を取り入れられるよう工夫している。 | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 10 | 0 | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 9 | 1 | ・相談支援事業所や他の障害福祉サービス事業所と連携に努めている。 | ・医療、保育の関係機関とはほとんど連携が実施できておらず、連携に応じる体制は整えてるが、確実性はないと感じる。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 10 | 0 | ・必要に応じて行っている。個別支援計画やモニタリング資料を学期ごとにお渡ししている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 6 | 4 | | ・小学校中学年以降に利用を開始する利用者が多いこともあり、情報共有があまりできていない。ニーズに応じて実施したい。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 8 | 2 | ・希望があれば、就労先や相談支援事業所と情報共有を行っている。 | ・全ての利用者について実施できているわけではないが、ニーズに応じて実施したい。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 8 | 2 | ・可能な場合は研修を受講している。・児童発達支援センターの相談支援事業を利用する利用者については情報共有を行い、支援内容についても意見をうかがっている。 | ・スーパーバイズは受けていないため、今後検討する。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 9 | | ・実現できていないため、ニーズに応じて実施したい。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 10 | 0 | ・自立支援協議会につながる障害児通所支援事業所の連絡会が三田市にないため、直接的には参加ができていないが、さんだ子どもネット（有志の連絡会）には参加している。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 10 | 0 | ・送迎時の申し送りのほか、毎月の利用の様子を文書で報告している。 | ・定期的な面談以外にもメールや電話等を活用し、相談しやすい環境づくりに努め、職員間での情報共有にて共通理解をもって支援にあたりたい。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | 6 | ・保護者からの相談には随時応じ、研修等の情報提供も実施している。 | ・事業所内での研修やペアレントトレーニング等は実施できていないため、今後検討する。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 10 | 0 | ・利用契約時や内容更新時に文書等で説明を実施している。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 10 | 0 | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 10 | 0 | | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|----|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 10 | 0 | ・送迎時や面談に加えて、電話やメールでの相談にも応じている。 | ・今後も利用者・保護者に寄り添った支援を心掛けたい。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 8 | | ・実施できていないため、ニーズに応じて実施できる体制を整えたい。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 10 | 0 | ・苦情受付体制は利用契約時等に周知している。苦情を受けた際には職員間で対応を協議し迅速な対応に努めている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 10 | 0 | ・活動概要や行事予定は月報等の郵送やSNSを活用し、発信している。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 10 | 0 | | ・職員室についてはドアがないため、注意事項について視覚支援を実施するとともに、職員が在室するようにしている。 |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 10 | 0 | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 7 | ・地域行事には可能な限り参加している。 | ・事業所の行事に招待することは行っていないため、今後検討したい。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 10 | 0 | ・法定研修は必ず全ての職員が受講している。マニュアルについては、事業所内で全ての職員が閲覧できるほか、保護者向けに教室エントランスにて公表している。 | ・分かりやすい周知の方法を検討していきたい。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 10 | 0 | ・BCPを策定し、利用者参加のもと非常災害訓練は毎月1回実施している。職員向けにも避難はしごを用いる訓練や防犯訓練等を実施している。 | ・分かりやすい周知の方法を検討していきたい。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 10 | 0 | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 9 | 1 | ・利用契約時にアレルギー情報について保護者に報告を求め、配慮事項を確認のうえ対応している。 | ・医師の指示書までは提出を求めている。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 10 | 0 | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 10 | 0 | | ・分かりやすい周知の方法を検討していきたい。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 10 | 0 | ・ヒヤリハットは全ての職員に確認を義務付けており、再発防止策について検討・周知している。 | ・保護者への報告については、より確実かつ迅速な対応ができるよう尽力したい。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 10 | 0 | ・法定研修の実施・受講のほか、兵庫県が実施する研修など外部研修にも参加し、虐待防止に努めている。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 10 | 0 | ・身体拘束については必要性を職員間で慎重に検討し、実施の場合は利用者や保護者に了解を得たうえで、放課後等デイサービスガイドライン等の定める手順をふまえて実施している。 | |